

岡山大学保健環境センター環境安全部門の発足

岡山大学保健環境センター・副センター長
河原長美

岡山大学環境管理センターは、大学法人化に伴う労働安全衛生管理の抜本的強化を目的として、2004年4月より岡山大学保健管理センターと統合して保健環境センターとなり、従来の環境管理センターは保健環境センター環境安全部門として新たな出発をいたしました。

保健環境センターの環境安全部門は、環境管理と労働安全を主として担当します。従来に比べて労働安全に関する業務が増加し、加えて、従来からの廃棄物や環境管理に関する業務や教育研究が期待されていることから、教官スタッフが環境理工学部との兼担ながら3名増員になり、従来からのセンターの教員も大学院担当として学生の教育研究指導を担当するようになります。

環境管理センターの歴史をさかのぼると、学内で発生する廃液処理を担当するセンターとして発足しましたが、排水管理、廃棄物管理、環境マネジメントシステムと、化学物質管理と仕事内容を広げてきました。しかしながら、大学として重要な業務でありながら、十分取り組めていない業務もまだまだ多く、その中から重要性と大学の特性とから重点的に取り組むべき課題を明らかにしながら仕事を進めていく必要があると考えられます。まだまだ落ち着いて仕事を進める様な時代が来ないようですが、忙しい中にもより重要な役割を果たす時代がやっていると感じております。